

ライフ・アンド・フォレスト

～もっと近づく、森とくらし～

3月11日に発生した東日本大震災と東京電力の原発事故。その時、すぐに仮設住宅に地元の木材を使えなかった、林業地帯東北。裏山にある身近な森林資源を暮らしに活かすことが困難となった我が国の社会構造が露呈しました。国土の7割を森林が占める森林資源大国の日本ですが、森林は放置され、山村は荒廃しようとしています。

本シンポジウムでは、東北復興を契機に日本全体を持続可能な社会へ転換するために、一人ひとりの暮らしの中で森林に歩み寄ることを考えます。

2011年10月29日(土)

13:30~17:10(受付 13:00~)

13:30 開会 挨拶

13:40 コーディネーター 川井秀一氏

「これまでの振り返りと開催趣旨説明」

14:00 水谷 伸吉氏 「岩手県住田町の仮設住宅建設の取り組み」

14:30 早藤 潔氏 「都市と山村を結ぶ持続可能な森林利用」

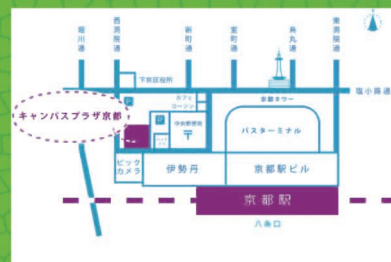
15:00 沖中 玲子氏 「一次産業における広報の重要性」

15:30 休憩

15:45 パネル討論

17:00 閉会 挨拶

17:10 閉会



場所：キャンパスプラザ京都 第2講義室 4F

京都市下京区西洞院通塩小路下る

参加費：無料 (シンポジウム終了後 交流会 18:00~20:00 ; 会費 4,000 円)

申込み：FAX : 0774-38-3678

E-mail : yu-nakamura@rish.kyoto-u.ac.jp

【氏名・所属・連絡先・交流会出欠】をお知らせ下さい



水谷 伸吉氏

一般社団法人
more trees 事務局長

国内・海外で森林保全活動を行う。東日本大震災直後から、岩手県住田町による木造仮設住宅建設を支援するプロジェクト「LIFE 311」を実施。



早藤 潔氏

東京都港区
地球温暖化対策担当課

東京都港区内の公共建設・民間建築物等での国産材の利用を促進し、CO2固定量増加、協定自治体の森林整備を進める「みなとモデル」を実施。



沖中 玲子氏

株式会社
Line Work(s) 代表取締役

林業・木材・建築分野の広報支援を手がける。積極的な情報発信により、消費者にとってより身近な森林・林業を目指す。



川井 秀一氏

認定NPO 法人 才の木 理事長
京都大学教授

京都大学生存圏研究所教授。認定NPO 法人 才の木で、木づかい・森づくりの環境教育プログラムにより、木材・森林の普及啓発に取り組む。

当日会場にて、東日本大震災被災地での木造仮設住宅支援プロジェクト「LIFE311」募金活動を行います。

主催：認定NPO 法人 才の木、NPO 法人 京都・森と住まい百年の会

共催：森林・木材・環境アカデミー